

日本生涯教育学会第45回大会開催要項

- 1 大会期日 (受付・オンライン入室可)
 - 1日目 11月30日(土) 受付 10時30分～ 開会式 13時15分～
 - 2日目 12月1日(日) 受付 9時00分～ 総会 9時30分～
- 2 主催 日本生涯教育学会
- 3 共催 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター
- 4 大会参加費 会員・非会員(臨時会員)共に無料
- 5 学会費 会員は受付で学会費の納入を受け付けます。年会費は8,000円です。
- 6 会場 [主会場]
国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43 TEL 03-3823-0241
※ 参集とオンラインを併用したハイフレックス方式で実施
- 7 大会日程
 - 1日目 11月30日(土) ※参集と一部オンライン中継との併用(ハイフレックス方式)
 - 評議員・理事受付(9:00～)
 - 1 評議員会(9:30～10:15)
 - 2 全国理事会(10:25～11:00)
受付(10:30～)
 - 3 研究発表 展示発表部会(11:15～12:15)
休憩・移動(12:15～13:15)
 - 4 開会式(13:15～13:25)
 - 5 生涯学習政策研究フォーラム(13:30～15:30)
テーマ「社会の変革は生涯学習に何をもたらすか
～GX推進による価値の転換と生涯学習～」
 - 6 研究発表 自由研究部会Ⅰ(15:45～17:15)
 - 7 情報交換・懇親会(17:45～18:50)
 - 2日目 12月1日(日) ※参集と一部オンライン中継との併用(ハイフレックス方式)
受付(9:00～)
 - 1 総会(9:30～10:00)
 - 2 研究発表 生涯学習実践事例研究部会(10:10～12:40)
休憩・移動(12:40～13:30)
 - 3 新理事会(12:50～13:20)
 - 4 研究発表 自由研究部会Ⅱ(13:30～15:00)
 - 5 会長賞表彰式(15:10～15:20)
 - 6 閉会式(15:20～15:30)
終了(～15:30)

8 大会日程表

月日・時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
1日目 11月30日 (土)	評議員・理事受付開始	評議員会	全国理事会	受付開始	《研究発表》 展示発表 部会	休憩・移動	開会式	生涯学習政策 研究フォーラム	休憩・移動	《研究発表》 自由研究部会Ⅰ	情報交換会・懇親会	
	9:00 ↓	9:30 ↓ 10:15	10:25 ↓ 11:00	10:30 ↓	11:15 ↓ 12:15	12:15 ↓ 13:15	13:15 ↓ 13:25	13:30 ↓ 15:30		15:45 ↓ 17:15	17:45 ↓ 18:50	
月日・時	9	10	11	12	13	14	15					
2日目 12月1日 (日)	受付開始	総会	休憩・移動	《研究発表》 生涯学習実践 事例研究部会		新理事会 12:50 ～ 13:20	《研究発表》 自由研究部会Ⅱ	休憩・移動	会長賞表彰式	閉会式		
	9:00 ↓	9:30 ↓ 10:00		10:10 ↓ 12:40		12:40 ↓ 13:30	13:30 ↓ 15:00		15:10 ↓ 15:30			

9 留意事項

(1) 大会の参加について

- 大会の参加については、対面参加・オンライン参加を問わず、参加申込みフォームからの申込みが必要となります。(別紙参照)
- 当日のZoomに参加するためのURL等の連絡については、大会参加申込みフォームに記載されているメールアドレスに送信しますので受取可能なメールアドレスをご入力くださるようお願いします。

(2) 開催方法の変更について

- 今後、感染拡大等の状況によっては、全面的なオンライン化も含め、実施方法が変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。その場合、参加方法等については後日、連絡することとしております。
- 全面オンライン開催となった場合、各研究発表は展示発表も含め、オンラインによるライブ配信による発表とします。その際は、研究発表用のURL等を大会参加申込フォームに記載されているメールアドレスに送信します。
また、この場合、情報交換会・懇親会は中止とさせていただきます。

10 大会に関する連絡先

第45回大会実行委員会事務局 conf@j-lifelong.org

大会概要 1日目 (11月30日 土曜日)

《日程一覧》

時間	内容	会場・備考等
9:00~	評議員・理事等関係者受付開始 書籍・資料配布、販売等	1F玄関ホール 1Fロビー
9:30~10:15	評議員会	2F実習室
10:25~11:00	全国理事会	2F実習室
10:30~	参加者受付開始	1F玄関ホール
11:15~12:15	研究発表(展示発表部会・意見交流)	3Fロビー 3F第2・3・4セミナー室
12:15~13:15	休憩・移動	
13:15~13:25	開会式	3F講堂
13:30~15:30	生涯学習政策研究フォーラム 「社会の変革は生涯学習に何をもたらすか ~GX推進による価値の転換と生涯学習~」	3F講堂
15:45~17:15	研究発表(自由研究部会 I)	3F講堂 3F第1セミナー室 2F第2セミナー室
17:45~18:50	情報交換・懇親会	1Fロビー

1 評議員会 (9:30~10:15) 2階 実習室

2 全国理事会 (10:25~11:00) 2階 実習室

3 研究発表 展示発表部会 (11:15~12:15) (発表7件：参集のみ)
3階 ロビー及び第2・3・4セミナー室

概要：ポスターセッション

研究成果を端的にまとめた大判ポスターを掲示するだけでなく、発表者によるプレゼンテーションと参加者との意見交流を行います。(1ラウンド15分程度)

時間	コード	題目	発表者(所属) ※○は共同研究の口頭発表者
11:15~ 12:15	II-7	特別支援学校生の学校から社会への移行期における生涯学習支援の検討	大西 麗衣子 (尚美学園大学)
	II-9	社会教育事業評価におけるルーブリックの活用	宮地 孝宜 (東京家政大学)
	II-10	生涯学習における学習履歴の可視化・デジタル化に関する調査研究ーオープンバッジの活用を通してー	山川 肖美 (広島修道大学) ○吉長 愛 (広島県立生涯学習センター・非会員) ○天保 信子 (広島県立生涯学習センター・非会員)
	III-22	通信制高校におけるアカデミックスキル教育の実践ー日本史探究・総合的な探究の時間での実践を事例にー	八田 友和 (クラーク記念国際高等学校)

11:15～ 12:15	Ⅲ-26 社会教育主事講習における「オンラインコース」の実践	白井 淳子 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター) 志々田 まなみ (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター) ○川田 貴之 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター) 新木 圭彦 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター) 大下 真史 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター) 石川 賀一 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター) 巽 好一郎 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター・非会員) 石津 峰 (福岡県立社会教育総合センター)
	IV-1 アートイベントと地域社会との関係についての一考察	飯嶋 香織 (関西国際大学非常勤講師)
	V-1 地域活動センター設置と社会教育士の配置～「地域全体の学びのオーガナイザー」となりうるのか～	神田 雅貴 (埼玉県川島町教育委員会)

4 開会式 (13:15～13:25)

3階 講堂

5 生涯学習政策研究フォーラム (13:30～15:30) (ハイフレックス方式)

3階 講堂

テーマ:「社会の変革は生涯学習に何をもたらすか～GX推進による価値の転換と生涯学習～」

概要: 現在、政策的課題として、GX(グリーントランスフォーメーション)、DX(デジタルトランスフォーメーション)、持続可能性、生物多様性、社会的統合、平和構築などが世界規模で取り組まれています。これらの進展は、社会的に見れば未来に向けて社会全体(仕組み、関係性、価値)の変革を目指すものであり、人に視点を当てれば一人一人の価値観の変容と意識及び行動の変革を求めるものであります。

このフォーラムでは、世界的に多様な分野で展開が見られるGXに焦点を当て、GX推進が生涯学習とその推進にもたらす未来像を考えます。GXは、気候変動対策や脱炭素社会の構築を目指す国家的、かつグローバルな課題(チャレンジ)であり、多くの国でクリーンエネルギー政策や経済成長の戦略として位置付けられています。一方、これは人々に家庭、職場、社会のすべてにおいて環境に価値を置く意識と行動の変容を求めるものであり、これからの社会を担う人材育成を見据えた教育や学習に与える影響は計り知れないものがあります。本フォーラムでは、国内外におけるGX推進と生涯学習に関連する政策、実践、研究を俯瞰し、GX推進と価値の変換に果たす生涯学習の将来像を議論することになります。

登壇者: 澤野 由紀子(聖心女子大学)

鴻上 哲也(伊万里市民図書館)

西 明夫(文部科学省)

コーディネーター: 佐藤 裕紀(新潟医療福祉大学)

6 研究発表 自由研究部会 I (15:45~17:15) (発表9件:ハイフレックス方式)

【Aグループ】

司会 佐々木 保孝 (天理大学) 3階 講堂

時間	コード	題 目	発表者 (所属)
15:50~ 16:15	V-1	「BuRaLi(ぶら〜り)e上野」の実践における成果と課題 (第2報)	※○は共同研究の口頭発表者 山本 裕一 (全国体験活動ボランティア活動総合推進センター) ○大下 真史 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター) ○新木 圭彦 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター) 川田 貴之 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)
16:20~ 16:45	I-5	米国の科学館におけるSTEM教育の取組について	熊野 有祐 (独立行政法人国立科学博物館)
16:50~ 17:15	Ⅲ-26	通信制大学に関する考察〜リカレント教育に着目して〜	船木 茂人 (文部科学省)

【Bグループ】

司会 毛利 るみこ (文部科学省) 3階 第1セミナー室

時間	コード	題 目	発表者 (所属)
15:50~ 16:15	I-3	1960年代における母親教育の試みー雑誌『母と子』を手がかりにー	山梨 あや (慶應義塾大学)
16:20~ 16:45	Ⅱ-6	社会教育法と図書館法の関係ー成立の経緯と条文の内容	葉袋 秀樹 (筑波大学名誉教授)
16:50~ 17:15	Ⅱ-6	国会議員の発議による1973年と1975年の図書館法改正案の提出に至る背景ー主要政党の図書館政策の比較からー	春田 和男 (東京家政大学)

【Cグループ】

司会 郡谷 寿英 (北海道科学大学) 3階 第2セミナー室

時間	コード	題 目	発表者 (所属)
15:50~ 16:15	Ⅱ-8	言語教育を「生涯にわたる言語学習」支援として捉え直す場としての日本語教員養成ー学部生を対象とする「日本語教育演習」を事例としてー	山内 薫 (明治学院大学)
16:20~ 16:45	Ⅱ-8	CBLを介した生涯学習人材のプログラム開発と評価:実学的アプローチ	齊藤 ゆか (神奈川大学)
16:50~ 17:15	Ⅱ-10	留学成果の評価と教育の質向上に向けたデジタルバッジ導入の可能性	地引 優香 (聖心女子大学大学院生)

テーマ:「全国生涯学習関係者でつどい、語り合う」

趣旨:全国各地の生涯学習・社会教育に携わる方々と顔を突き合わせ、これからの生涯学習や社会教育に係る在り方や活動への思いなどを気軽に語り合い、参加者同士のネットワークづくりにもなるような交流会として実施します。

参加費:2,000円(会場で徴収)

大会概要 2日目 (12月1日 日曜日)

《日程一覧》

時間	内容	会場・備考等
9:00~	受付	1F玄関ホール
9:30~10:00	総会	3F講堂
10:10~12:40	研究発表(生涯学習実践事例研究部会)	3F講堂
12:40~13:30	休憩・移動	
12:50~13:20	新理事会	2F実習室
13:30~15:00	研究発表(自由研究部会Ⅱ)	3F講堂 3F第1セミナー室 3F第2セミナー室
15:10~15:20	会長賞表彰式	3F講堂
15:20~15:30	閉会式	3F講堂

1 総会 (9:30~10:00)

3階 講堂

2 研究発表 生涯学習実践事例研究部会(10:10~12:40) (発表5件:ハイフレックス方式)

司会 志々田 まなみ (国立教育政策研究所) 3階 講堂

時間	コード	題目	発表者(所属) ※○は共同研究の口頭発表者
10:15~ 10:40	I-I	保護司活動に見る社会教育的手法	本間 清 (新潟県村上岩船地区保護司会)
10:45~ 11:10	V-I	長期自然体験活動が未来を拓く力を育む~福島復興支援事業なすかしドリームプロジェクト11年間の追跡調査からわかること~	鈴木 昭博 (茨城県水戸生涯学習センター)
11:15~ 11:40	V-I	北九州市折尾まちづくり記念館を拠点とした地域学プロジェクト~高校・大学生ボランティアによる折尾学の構築2020-24~	山田 明 (九州共立大学)
11:45~ 12:10	V-I	学校運営協議会制度の導入による地域住民の意識の変容~地域による不登校支援に向けた“大人の学び”を生かしたサポーター制度の構築を通して~	市川 重彦 (所沢市立松井小学校)

12:15～ 12:40	V-1	日本フォルケホイスコーレコミュニティの形成過程	○矢野 拓洋 (東洋大学) 倉澤 翔太 (NoMaFo合同会社・非会員) 小林 ちずか (つわのホイスコーレ・非会員) 岡田 勝太 (NPO法人SET・非会員) 安井 早紀 (株式会社Compath・非会員) 伊藤 理恵 (宮城フォルケホイスコーレ・非会員) 遠又 香 (株式会社Compath・非会員) 大城 美空 (そのまんまフォルケホイスコーレ・非会員) 稲田 真弓 (京都ホイスコーレ・非会員)
-----------------	-----	-------------------------	--

3 研究発表 自由研究発表Ⅱ (13:30～15:00) (発表9件：ハイフレックス方式)

【Dグループ】 司会 八田 友和(クラーク記念国際高等学校) 3階 講堂

時間	コード	題目	発表者(所属) ※○は共同研究の口頭発表者
13:35～ 14:00	Ⅱ-8	社会教育主事の力量形成に関する質的検討—インタビュー調査を踏まえて—	山本 竜司 (放送大学大学院生)
14:05～ 14:30	V-1	PBL科目における授業実施前後及び毎時の学生の自己評価の変化に関する研究(第3報)	○郡谷 寿英 (北海道科学大学) 出口 寿久 (北海道科学大学)
14:35～ 15:00	V-1	地域のレジリエンスを高める高校生による防災ネットワーク構築に関する考察—防災サミットの実践から—	松浦 賢一 (国立日高青少年自然の家)

【Eグループ】 司会 天野 かおり(下関市立大学) 3階 第1セミナー室

時間	コード	題目	発表者(所属)
13:35～ 14:00	Ⅲ-4	SDGs目標5の視座からみる女性の働き方に関する一考察	宮崎 冴子 (元三重大学)
14:05～ 14:30	Ⅲ-5	移民・難民の子ども・若者の包摂と余暇活動:デンマークにおける学校と地域の連携	原田 亜紀子 (東海大学)
14:35～ 15:00	Ⅲ-5	ウェルビーイングとデモクラシーを育む学習都市・学習コミュニティに関する比較研究—スウェーデンとフィンランドを中心に	澤野 由紀子 (聖心女子大学)

【Fグループ】

司会 神田 雅貴（埼玉県川島町教育委員会）3階 第2セミナー室

時間	コード	題 目	発表者（所属）
13:35～ 14:00	IV-1	大都市圏郊外部における中年男性の地域貢献活動に関連する先行研究について	森 勲男 (鎌ヶ谷市教育委員会)
14:05～ 14:30	V-1	教養・健康・夢を育む生涯学習の推進～16年目となる西郷単位制総合大学の実践から～	渡邊 康一 (西郷村教育委員会生涯学習課)
14:35～ 15:00	IV-3	サードプレイスにおけるプログラムへのサポートスキームの分析	茂野 賢治 (帝京大学 /一般社団法人横浜すぱいす)

4 会長賞表彰式（15:10～15:20）（ハイフレックス方式）

3階 講堂

5 閉会式（15:20～15:30）（ハイフレックス方式）

3階 講堂

研究領域・研究分野コード一覧表

[研究領域]	[研究分野]
I. 生涯学習研究	1. 生涯学習理論 2. 生涯学習研究方法論 3. 生涯学習史 4. 生涯発達論 5. 生涯学習内容・方法論
II. 生涯学習支援研究	1. 生涯学習振興・推進論 2. 生涯学習支援システム論 3. 生涯学習行財政論 4. 学習情報論 5. 学習相談論 6. 生涯学習関連施設論 7. 学習機会提供論 8. 生涯学習人材論 9. 生涯学習評価論 10. 学習成果活用論 11. その他の生涯学習支援研究
III. 生涯教育研究	1. 生涯教育理論 2. 生涯教育領域論 21. 家庭教育論 22. 学校教育論 23. 社会教育論 24. 生涯スポーツ・社会体育論 25. 企業教育論 26. 遠隔教育論・放送教育論・通信教育論 3. 生涯各期の教育・学習論 31. 乳幼児教育・学習論 32. 青少年教育・学習論 33. 成人教育・学習論 34. 高齢者教育・学習論 4. 女性の生涯教育・学習論 5. 各国の生涯教育・生涯学習
IV. 総合・複合研究	1. 総合・複合研究生涯学習 2. 社会論マスコミ文化論 3. 現代的課題研究
V. 実践事例研究	1. 実践事例研究

(1) 各研究発表に付されているコードは、上記の表によるものです。

(2) コードは発表申込者の申請によるものです。ただし記入のないものは委員会の判断でコードを付し、また2つ以上記入のあるものは主なもの1つのみを付してあります。

(3) 所属は原則として、発表申込者の申請によるものです。

